

2024年度

一般社団法人外国映画輸入配給協会 事業報告

2024年4月1日～2025年3月31日

一般社団法人 外国映画輸入配給協会

目 次

I. 総会

- 1) 2024年度定時総会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2) 2024年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II. 理事会、会員定例会、部会、事業

- 1) 理事会審議議題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2) 会員定例会審議議題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 3) 各部会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 4) 外国映画通関連絡協議会の開催・・・・・・・・・・ 10
- 5) 外画宣伝部長会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

III. 主な事業活動の報告

- 1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びに
その公表等の広報活動に関する事業・・・・・・・・ 11
- 2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に
寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業・・・・・・・・ 11
- 3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、
普及促進、保存及び特殊上映に関する事業・・・・・・・・ 13
- 4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び
最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の
開催に関する事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び
開催に関する事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護
に関する事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために
必要な事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 参考) 一般社団法人映画産業団体連合会「要望書」・・・・・・ 16

一般社団法人外国映画輸入配給協会

2024年度事業報告

I. 総会

1) 2024年度定時総会

2024年度定時総会が以下の通り行われた。

開催日時： 2024年6月7日（金）

開催場所： 如水会館 3階 松風の間 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番1号

- ・2023年度事業を報告した。
- ・2023年度計算書類並びに2024年度事業計画、収支予算が承認可決された。
- ・理事の山崎敏氏、依田巽氏、荒木美也子氏、小山洋平氏、佐々木伸一氏、柴野相雄氏、水越浩司氏の任期満了による退任が承認可決された。
- ・山崎敏氏、依田巽氏、荒木美也子氏、小山洋平氏、佐々木伸一氏、柴野相雄氏、水越浩司氏の理事新任が承認された。

2) 2024年度事業計画

1. 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集、保存並びにその公表等の広報活動に関する事業

・年間外国映画統計資料

2024年に配給公開された輸入外国映画の統計『外画概況』（国別・会社別）を作成する。国内の輸入映画産業における基礎的な統計データを調査・集計し、データベースやデジタルアーカイブにて管理を行う。統計データは当協会の公式ホームページを通じ公表する。

2. 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

・第62回優秀外国映画輸入配給賞・淀川長治賞の開催

年間を通じて優れた作品でなおかつ新分野を開拓し、わが国の映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を国内に輸入、公開した配給会社及びわが国における外国映画文化、芸術の発展に大きく寄与すると認められた人物を表彰する。

・「映画の日」(映画産業団体連合会主催)永年勤続及び功労章の推薦

・日本アカデミー賞協会に組織委員会役員及び運営委員として参画

・毎日映画コンクール、ブルーリボン賞等の審査・運営に協力

3. 外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存に関する事業

・トーキョーシネマショー

モーション・ピクチャー・アソシエーション、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会と共に、外国映画振興のイベントを実施。トークや予告編上映イベント等を通じて、外国映画ファン拡大及び観客数増加に貢献する。

・「映画館に行こう！」実行委員会活動

映画人口2億人を目指し、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人日本映画製作者連盟、モーション・ピクチャー・アソシエーションの映画関係4団体の協力のもと、盗撮防止キャンペーン、映画 GIFT 普及、映画産業実態調査、被災地支援の活動を推進。

・優秀外国映画の保存

わが国唯一の映画を専門とする独立行政法人国立美術館「国立映画アーカイブ」と連携し、映画の保存・研究・公開を通して行う映画文化振興活動に協力する。

・副音声付等特殊上映

映連主催の「音響同期システム研究会」等において、改定障害者差別解消法施行に向けた対応を継続。合理的配慮のもと社会的障壁を除去し様々な人に外国映画を届ける環境づくりを、関係団体とともに追求する。

・協会記念事業

60周年事業による作品リストデータベース化を継続。協会年誌デジタル保存により、外国映画普及の歴史、先達遺産を保存継承する。

4. 外国映画文化の振興並びに産業発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会等の開催に関する事業

・映画産業交流会 「年頭名刺交換会」「関西映画人新春賀詞交歓会」の開催

モーション・ピクチャー・アソシエーションの協力を得て、配給・興行・製作・マスコミ関係及び関係諸団体等の参加により、日本映画産業業界全体の交流を図るため「年頭名刺交換会」を開催する。また、「関西映画人新春賀詞交歓会」(「映画館に行こう!」実行員会主催)の運営に協力する。

・外配協セミナー

外国映画文化の振興並びに輸入配給業の発展及び技術開発のための研修を開催する。

・外国映画通関連絡協議会研修会

本会は外国映画の輸入業務の合理化、円滑化を図る事を目的に事業を行う。通関業務が激減するなか、東京税関との関係を継続しつつ、新技術や著作権等の研修会を開催する。特に最新の映像・音響機材についての研修や、生成 AI による技術革新の勉強会等を通じて配給業務の発展を推進する。

・外画宣伝部長会

本会は一般社団法人日本映画製作者連盟加盟社及びモーション・ピクチャー・アソシエーション加盟の各社宣伝部長が、宣伝業務における諸問題、緊急課題の検討、連絡、情報交換を通じて、各社宣伝業務の円滑化を目的に事業を行う。「YAHOO! 予告サイト」への素材提供、「EVENT MASTER」システム運営に加え、「トーキョーシネマショー」、「優秀外国映画輸入配給賞」、「映画館に行こう! キャンペーン」等のイベントを共同で開催。

5. 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

・各種映画祭への後援協力

東京国際映画祭はじめ、大阪アジア映画祭、沖縄国際映画祭、京都ヒストリカ国際映画祭、SKIP シティ国際 D シネマ映画祭、山形国際ドキュメンタリー映画祭、山形国際ムービーフェスティバル、あいち国際女性映画祭等、各種映画祭等に対する後援及び実施に協力する。また、映画の日、日本アカデミー賞、毎日映画コンクール、ブルーリボン賞等、各団体が実施する催事に協力する。

6. 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

・映画盗撮防止対策

映画館での映画盗撮による著作権侵害に鑑み、「映画盗撮防止に対する法律」に規定されている映画盗撮防止措置について関係各団体と継続協議する。「映画館に行こう!」実行委員会を

中心に行っている「NO MORE 映画泥棒」キャンペーン等と連携を取り映画盗撮や違法アップロード防止対策を拡充推進していく。

・国際取引・著作権等諸問題に関する対応

国際取引、著作権問題に関する諸問題の相談、聞き取りや会員からの問題提議に対して、顧問弁護士、顧問会計事務所等との相談を通じ、外国映画関係法規及び国内著作権法等の検討を行い問題解決に努める。また、映連主催によるモーション・ピクチャー・アソシエーションとのAIを中心とした著作権の国際問題に関する意見交換会に参加する。

・一般社団法人日本音楽著作権協会との協議

映画館における外国映画音楽の上映利用について、一般社団法人日本音楽著作権協会と全国興行生活衛生同業組合連合会との間で行われている外国映画における音楽著作権上映使用料の改定交渉(通称JASRAC協議)について、従来通りその使用料の代行払いを担っている立場から、全国興行生活衛生同業組合連合会と共に積極的に交渉に参画する。

7. コロナ禍で被ったダメージからのさらなる再生・飛躍に向けて必要な取り組み、ダイバーシティ&インクルージョン社会実現に向けて必要な取り組みに協力

関係省庁および関係団体との連携を強め映画産業全体で行う取り組みに協力する。

8. 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

以上

II. 理事会、会員定例会、部会、事業

1) 理事会

○第122回理事会(4月16日開催) WEB 会議システム

<審議・承認事項>

2024年度事業予算の件

後援名義申請の件

・「第2回新潟国際アニメーション映画祭」(実行委員会東京事務局)

<報告事項>

3月活動報告／3月月次収支報告

外配協事業スケジュールの報告

外通協/製作・渉外部会「AIに関する基礎知識セミナー」の報告

映団連ほか業界団体に関連する共有事案の報告

第121回理事会議事録の共有

○第123回理事会 書面決議(5月21日付け)

<審議・承認事項>

2023年度計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書承認の件

定時社員総会招集の件

・「あいち国際女性映画祭2024」(実行委員会事務局)

・「映画感想文コンクール2024」(キネマ旬報社)

・「第37回東京国際映画祭」(ユニジャパン)

<報告事項>

4月月次収支報告

第62回優秀外国映画輸入配給賞審査経過報告

石川能登義援上映会の報告（「映画館に行こう!」実行委員会）

第122回理事会議事録の共有

○第124回理事会（6月7日開催） 如水会館(千代田区丸の内)

＜審議・承認事項＞

業務執行理事(会長・常務理事)選定の件

5月活動報告

＜報告事項＞

外通協/製作・渉外部会「AIに関する基礎知識セミナー」研修会報告

映団連ほか業界団体に関連する共有事案の報告

第123回理事会議事録の共有

○第125回理事会（7月16日開催） 資生堂パーラー(中央区銀座)

＜審議・承認事項＞

第62回優秀外国映画輸入配給賞実施報告の件

第17回淀川長治賞実施報告の件

トーキョーシネマショー2024実施概要・予算の件

正会員退会の件（佐々木興業株式会社）

外面概況・作品リスト業務委託変更の件

第69回「映画の日」特別功労賞「感謝状」の件

後援名義申請の件

・「MPTE AWARDS 2024 第77回表彰式」（日本映画テレビ技術協会）

＜報告事項＞

6月活動報告／5月・6月月次収支報告

第69回「映画の日」永年勤続功労章の報告

映団連ほか業界団体に関連する共有事案の報告

第124回理事会議事録の共有

○第126回理事会 書面決議（7月18日付け）

＜審議・承認事項＞

全国興行生活衛生同業組合連合会の賛助会員入会の件

○第127回理事会（9月17日開催） WEB 会議システム

＜審議・承認事項＞

2025年(令和7年)年頭名刺交換会開催概要の件

後援名義申請の件

・「TIFFCOM2024」（ユニジャパン）

・「第20回山形国際ムービーフェスティバル」（運営委員会事務局）

・「第3回京都映画賞」（実行委員会事務局）

・「第16回京都ヒストリカ国際映画」（実行委員会事務局）

＜報告事項＞

7月・8月活動報告／7月・8月月次収支報告

井上伸一郎顧問退任の報告

トーキョーシネマショー2024開催概要の報告

外画概況2024上半期(国別・会社別)の報告

映団連ほか業界団体に関連する共有事案の報告

第125回・第126回理事会議事録の共有

○第128回理事会(10月15日開催) 資生堂パーラー(中央区銀座)

<審議承認事項>

トーキョーシネマショー2024実施報告の件

2025年年頭名刺交換会予算案の件

<報告事項>

9月活動報告／9月月次収支報告

賛助会員退会の報告 (ムサシノ広告社、LDH JAPAN)

第69回「映画の日」永年勤続功労章「感謝状」の報告

映団連ほか業界団体に関連する共有事案の報告

第127回理事会議事録の共有

○第129回理事会(11月19日開催) WEB 会議システム

<審議承認事項>

トーキョーシネマショー2024決算報告の件

<報告事項>

10月活動報告／10月月次収支報告

第37回東京国際映画祭/TIFFCOM2024 開催報告

映団連ほか業界団体に関連する共有事案の報告

第128回理事会議事録の共有

○第130回理事会(1月21日開催) 資生堂パーラー(中央区銀座)

<審議承認事項>

賛助会員入会の件

・株式会社バンダイナムコ フィルムワークス

・株式会社東映エージェンシー

後援名義申請の件

・「第20回大阪アジア映画祭」(実行委員会事務局)

<報告事項>

11月・12月活動報告

11月・12月月次収支報告

映団連ほか業界団体に関連する共有事案の報告

第129回理事会議事録の共有

○第131回理事会(2月18日開催) WEB 会議システム

<審議・承認事項>

2025年年頭名刺交換会事業決算報告の件

映画産業団体連合会「要望書」の件

後援名義申請の件

・「第3回新潟国際アニメーション映画祭」(実行委員会東京事務局)

<報告事項>

1月活動報告／1月月次収支報告

映団連ほか業界団体に関連する共有事案の報告

第130回理事会議事録の共有

○第132回理事会(3月18日開催) 資生堂パーラー(中央区銀座)

<審議・承認事項>

第62回優秀外国映画輸入配給賞事業計画・予算の件

第18回淀川長治賞事業計画・予算の件

2024年度仮決算の件

2025年度事業計画の件

会員資格変更の件(株式会社WOWOW)

後援名義申請の承認

・SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2025(実行委員会事務局)

<報告事項>

2月活動報告／2月月次収支報告

「映画館に行こう!」実行委員会一般社団法人化の報告

映団連ほか業界団体に関連する共有事案の報告

第131回理事会議事録の共有

2) 会員定例会

○4月会員定例会(4月16日開催) WEB会議システム

3月活動報告

外配協事業スケジュールの報告

AIセミナー開催案内

障害者差別解消法についての取扱いについて(全興連)

映像プロセス部会セミナー報告(MPTE)

映倫審査料について(映倫)

石川能登義援上映会の報告

作品審査・スタッフセンター登録申請状況(映適)

クリエイター等育成支援事業の報告(文化庁)

TOHOアーカイブに関する報告

経済構造実施調査・経済センサス基礎調査の依頼

○6月会員定例会(6月7日開催) 如水会館(千代田区丸の内)

4月、5月活動報告

理事選任の報告

業務執行理事選定の報告

2023年度計算書類及び事業報告

2024年度収支予算に関する報告

第 62 回優秀外国映画輸入配給賞審査結果報告

トーキョーシネマショー2024 実施概要の報告

映画産業団体連合会(映団連)総会報告

映画翻訳家協会「覚書」協議報告

「AI に関する基礎知識セミナー」実施報告

ミニスター支援プロジェクトの件 (全興連)

外画概況データ作成変更の報告

4 月会員定例会議事録

○ 7 月会員定例会 (7 月 1 6 日開催) 資生堂パーラー(中央区銀座)

6 月活動報告

第 62 回優秀外国映画輸入配給賞実施報告

第 17 回淀川長治賞実施報告

トーキョーシネマショー2024 実施概要・予算の報告

第 69 回「映画の日」永年勤続功労章の報告

HELLO! MOVIE 方式アプリ利用料の報告

コンテンツ産業活性化戦略の報告 (映連)

日本版 CNC 設立を求める会の報告(映

カスタマーハラスメントに関する報告(全興連)

北海道映画人名刺交換会 2024(全興連)

生活衛生関係営業対策事業(全興連)

○ 9 月会員定例会 (9 月 1 7 日開催) WEB 会議システム

7 月・8 月活動報告

トーキョーシネマショー2024 終了報告

2025 年(令和 7 年)年頭名刺交換会の概要報告

外画概況 2024 年上半期(国別・会社別)報告

「映画戦略企画委員会」に向けた要望に関する報告

「コロナ禍後の映画館観客実態調査」最終報告書

第 37 回東京国際映画祭 (ユニジャパン)

MPTE AWARDS 2024 (日本映画テレビ技術協会)

作品審査・スタッフセンター登録状況 (映適)

○ 1 0 月会員定例会 (1 0 月 1 5 日開催) 資生堂パーラー(中央区銀座)

第 37 回東京国際映画祭/TIFFCOM2024 について

公益財団法人ユニジャパン 東京国際映画祭 事務局長 阪上仁志 氏

公益財団法人ユニジャパン TIFFCOM 事務局長 池田香織 氏

9 月活動報告

トーキョーシネマショー2024 決算報告

第 69 回「映画の日」中央大会の報告

MPA セミナーの報告 (映団連)

「映画戦略委員会」実務責任者説明会の報告 (映連)

第1回映画戦略企画委員会 議事要旨（映連）

○11月会員定例会（11月19日開催） WEB 会議システム

10月活動報告

「第37回東京国際映画祭」「TIFFCOM2024」開催結果速報

2025年会議スケジュールの報告

第69回「映画の日」中央大会の報告（映団連）

映適登録状況の報告（映適）

ハロームービーアプリ利用実績報告

MPAセミナーの報告（MPA）

文字起こしサイト運営者逮捕の報告（CODA）

○1月会員定例会（1月21日開催） 資生堂パーラー(中央区銀座)

11月・12月活動報告

2025年年頭名刺交換会実施報告

関西映画人新春賀詞交換会実施報告

映画翻訳家協会「覚書」改定締結の報告

賛助会員新規入会の報告

経産省エンタメ・クリエイティブ産業支援研究会（事務局）

アップリンク映倫訴訟（映倫）

アニメ産業レポート2024（日本動画協会）

○2月会員定例会（2月18日開催） WEB 会議システム

1月活動報告

2025年年頭名刺交換会実施報告

2024年外画概況

映画産業団体連合会「要望書」の報告

「映画館に行こう！」実行委員会の法人化の報告

経産省エンタメ・クリエイティブ産業支援研究会の報告（事務局）

2024年全国映画概況（映連）

第37回東京国際映画祭レポート（ユニジャパン）

審査・登録申請状況、協賛状況（映適）

○3月会員定例会（3月18日開催） 資生堂パーラー(中央区銀座)

2月活動報告

第63回優秀外国映画輸入配給賞概要・予算の報告

第18回淀川長治賞概要・予算の報告

2024年度仮決算の報告

2025年度事業計画の報告

映画産業団体連合会「要望書」の経過報告

「映画館に行こう！」実行委員会法人化の経過報告

日本脚本家協会改善命令記事（文化庁）

「昭和100年」関連施策の件・「フリーランス法」協力依頼（経産省）

韓国コンテンツ産業支援政策調査資料 (VIPO)

JVA2024 年年間統計調査結果 (JVA)

3) 宣伝部会、営業部会、製作＝渉外部会、総務・経理合同部会の開催

○宣伝部会

- ・ 5月30日開催 銀座資生堂パーラー
第62回優秀外国映画輸入配給賞／第17回淀川長治賞の件
トーキョーシネマショー2024の開催概要の件
パブリシティ会社一覧作成について
イベントマスター利用に関する件
- ・ 7月25日開催 WEB 会議システム
トーキョーシネマショー予告編上映の確認・注意事項(東急レクリエーションより説明)
第62回優秀外国映画輸入配給賞実施報告の件
第17回淀川長治賞実施報告の件
第68回「映画の日」特別功労章の件(感謝状推薦について)
「映画館に行こう!実行委員会」会議報告の件
HELLO!MOVIE方式アプリ利用料(エヴィクサー)
ミッドランドシネマスクエアシネマ予告大会(事務局)
「第23回新しい資本主義実現会議」基礎資料(事務局)
- ・ 11月29日開催 懇親会 ヴィノシティマキシム (中央区日本橋) 32名参加

○営業部会

- ・ 1月29日開催 銀座天厨菜館 (中央区銀座)
全国映画概況について説明 (映連星野事務局長)
- ・ 1月29日開催 懇親会 銀座天厨菜館 (中央区銀座) 20名参加

○製作＝渉外部会

- ・ 5月27日開催 AIに関するセミナー WEB 会議システム
「AIと著作権に関する基礎知識セミナー」
「映像翻訳とAIに関する基礎知識セミナー」

○総務・経理合同部会

- ・ 3月21日書面 メール配信
2024年度決算について報告

4) 外国映画通関連絡協議会の開催

- | | | |
|-------|---------|---------------------|
| 定時総会 | 5月27日開催 | 映像翻訳アカデミー |
| 研修会 | 5月27日開催 | 映像翻訳アカデミー |
| 定例会合 | 5月27日開催 | 映像翻訳アカデミー |
| 懇親会 | 5月27日開催 | ヴィノシティマキシム (中央区日本橋) |
| 常任理事会 | 4月10日開催 | WEB 会議システム |

5) 外画宣伝部長会の開催

- ・ 5月30日開催 銀座資生堂パーラー
第62回優秀外国映画輸入配給賞／第17回淀川長治賞の件

トーキョーシネマショー2024 の開催概要の件

パブリシティ会社一覧作成について

イベントマスター利用に関する件

・6月19日第62回優秀外国映画輸入配給賞授賞式 事業協力

・9月18日トーキョーシネマショー 事業協力

Ⅲ. 主な事業活動の報告

- 1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業
2024年外国映画作品目録を2025年1月に発表。2024年外画概況（国別・会社別）を7月（上半期）と1月に発表した。各種資料は完成後当協会ホームページに掲載。さらにデータベースにて検索機能を拡充させた。関連団体、官公庁、関係会社、マスコミとの連絡業務に活用されている。
- 2) 外国映画文化、芸術の振興および外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

1. 第62回優秀外国映画輸入配給賞の実施

本賞は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間に公開されたすべての外国映画を対象に審査が行われ、優秀かつ新分野の開拓や日本の映画界の発展に大きく寄与すると認められる作品を輸入、公開した配給会社を表彰する。本年度の審査は8名の審査員によって行われ、書類による第1次審査、4月24日の最終審査を経て以下のとおり決定した。今年度は、外国映画を継続して良質なラインアップを揃え、作品の魅力を最大限に引き出した配給会社に贈られた。なお、本年度の奨励賞は該当なしとなったが、創立100周年を迎えたメジャースタジオ3社に特別奨励賞を贈る事とした。

<審査内容>

本賞は「最優秀賞」を正賞とし、次点として「優秀賞」が贈られる。

また、意欲的且つ冒険的に各国優秀作品の買付・輸入・配給に努めた会社に対し審査員の合議に基づいて「奨励賞」を設けることができる。受賞会社は、公開した作品の内容とともに興行成績も重視して授与される。

運営委員：山崎敏、大角正、依田巽、山下直久、釣巻美智子、諸富謙治、中山佳波、
加賀谷穂高

審査員：秋山登、大高宏雄、佐伯知紀、石飛徳樹、佐藤雅昭、三浦理高、よしひろまさみち、
渡辺祥子

<審査会>

- ・第1回審査 2024年4月 書面審査
- ・最終審査 2024年4月24日（水） 如水会館にて開催
- ・【最優秀賞】 ギャガ株式会社

『落下の解剖学』 『瞳をとじて』 『ポトフ 美食家と料理人』 『TAR／ター』

芸術の香りを放ち、見る者にこれぞ名作の思いを抱かせた「TAR／ター」。スペインの名匠の31年ぶりの長編新作「瞳をとじて」が語り掛ける映画と人生の意味。裁判で夫婦の愛の崩壊が語られていく「落下の解剖学」。豊かな食の知識や料理の数々で見る者を魅了した「ポトフ 美食家と料理人」。異なるタイプの面白さを備えた作品を丁寧に選択、買い

付け、作品に似合った宣伝によって多くの観客を動員、魅了したことを高く評価した。

・【優秀賞】東和ピクチャーズ株式会社

『ミッション：インポッシブル／デッドレコニング PART ONE』 『キラーズ・オブ・ザ・フラワームーン』

1920年代の先住民連続殺人を題材にアメリカの歴史の暗黒面を正攻法の演出で暴いてみせた「キラーズ・オブ・ザ・フラワームーン」。トム・クルーズの体当たりのアクション演技によって久しぶりにハリウッド娯楽大作の持つ豊かな楽しさを堪能した「ミッション：インポッシブル／デッドレコニング PART ONE」。洋画興行が厳しいなか、作品の持つ力にふさわしいヒットを放ち、大作宣伝における歴史ある洋画配給会社の底力を発揮した努力を高く評価した。

・【特別奨励賞】

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社

株式会社ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

ワーナー ブラザース ジャパン合同会社

創立100周年を迎えたメジャースタジオ3社が、100年にわたり映画を製作、国内外に配給し続けた功績に感謝の意をこめ、特別奨励賞を贈呈した。

＜授賞式＞

授賞式には受賞会社および外配協会員各社、業界通信各社が参加した。受賞会社には代表者のほか買付、宣伝、営業部門の配給業に携わる各担当者も招待し受賞会社へ功績を称えた。

出席者：計80名

開催日時：2024年6月19日（水）17時00分より

開催場所：如水会館（千代田区竹橋）2階 スターホール 出席数：80名

2. 第17回淀川長治賞（協力：集英社ロードショー）の実施

本賞は、映画誌「ロードショー」（集英社刊）において、映画評論家・淀川長治氏の長年の功績をたたえるべく、1992年に創設。字幕翻訳の戸田奈津子氏はじめ映画文化の発展に貢献した人物を顕彰し、2007年まで16回にわたり実施した。「ロードショー」の休刊にともない中断されていた本賞が、このたび、当協会に事業継承され、「わが国における外国映画文化、芸術の振興に寄与した人物を表彰するもの」として再開した。

＜審査について＞

審査は、運営委員による推薦者13名を選抜。委員による採点投票を実施の結果、映画コメンテーター／タレントのLiLiCo氏が決定した。

＜授賞式＞

開催日時：2024年6月19日（水）18時00分より

開催場所：如水会館（千代田区竹橋）2階 スターホール 出席数：80名

授賞式では「映画は私の人生です。洋画からたくさん学べるので若い方にもっと見てほしい。これからも洋画の魅力を伝えていきます。」と喜びを述べた。

3. 一般社団法人映画産業団体連合会会員としての活動

一般社団法人映画産業団体連合会（映団連）の正会員として、定時総会、定例理事会に事務局長はオブザーバーとして出席。映団連会員団体の事務局長連絡会議に出席し、各団体から

の最新情報を速やかに会員に共有するとともに、映団連会員として当協会の基盤の安定に努力した。映団連主催の第69回「映画の日」運営式典に運営協力。永年勤続表彰者の推薦及び特別功労章選定会議に参加し、本年は、当協会から推薦した株式会社ガル・エンタープライズと株式会社バカ・ザ・バックに感謝状が贈られた。

3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

1. 「トーキョーシネマショー2024」の開催

今年で29回目を迎えた本年は、全国の興行関係者、配給関係者を中心に420名の参加を得て、9月18日に新宿ピカデリーにて開催され、初出し映像4作品を含む28作品の最新予告編の上映に加え、「映画館に行こう！」実行委員会による『コロナ禍後の映画館観客実態調査』の調査結果が報告された。配給各社のラインナップの紹介とともに顧客ニーズの現在地を明確にすることで、興行・配給各社の事業の繁栄及び業界全体で取り組む施策方針を確認した。参加者には、31社の配給会社より303作品が掲載されたパンフレットが配布された。

開催日時： 2024年9月18日（水）16：00～

会場： 新宿ピカデリー

内容： 第1部「最新作のとおき映像連続上映」
配給会社イチオシの1本（28作品、内4作品初出し映像）
第2部「コロナ禍後の映画館観客実態調査報告」
（「映画館に行こう！」実行委員会）

司会： 笠井信輔氏（フリーアナウンサー）

2. 「映画館に行こう！」実行委員会活動

年間映画人口を2億人に拡大し、映画産業と日本経済の発展に資することを目的に、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人外国映画輸入配給協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）の映画業界4団体による「映画館に行こう！」実行委員会の2024年度事業に積極的に参加した。

＜主な活動内容＞

- ①映画館での盗撮防止への継続的活動。
- ②上映時間データベース及びYAHOO! 予告編サイトの継続。
- ③全興連との連携協力。

3. 国立映画アーカイブへのフィルム寄贈

会員各社の作品契約の諸条件の中で、契約相手の賛同を得て日本（国立映画アーカイブ）にプリントを残すための活動について、理解を深め賛同を得るための努力を継続した。

4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

1. 年頭名刺交換会の開催

2025年1月6日（月）品川プリンスホテルにて日本の映画産業を支える配給、興行、宣伝、製作、メディア関係者798名が参加し、年頭にあたり外国映画輸入配給事業の健全な発展を図り我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的とした交流会「年頭名刺交

換会」を開催した。

2. 外国映画通関連絡協議会研修会

映画・映像関連事業に携わる企業30社が参加する外国映画通関連絡協議会では、デジタル化の影響で通関実績が激減するなか、東京税関との繋がりを継続しつつ、主に上映技術研究のための研修会等を開催しており以下の活動を行った。

- ①定例会合及び懇親会の開催
- ②常任理事会の開催
- ③研修会等の開催(映像翻訳アカデミー)

3. 外画宣伝部長会

当協会会員会社とモーショントピクチャー・アソシエーション(MPA)加盟会社、映連加盟会社他の宣伝部長で構成される宣伝部長会を開き、直面する諸問題の検討、情報の交換等を行い、各社の宣伝業務が円滑、健全に遂行されるとともに、映画観客数の増加に繋がる宣伝を行うための環境整備に努めた。また、「映画館に行こう!」上映時間データベース、YAHOO! 予告編サイト、「映画館に行こう!」実行委員会活動への協力等にて、邦画・洋画の枠を超えた交流の促進を図るべく活動した。

4. 外配協セミナー・説明会・報告会 (各団体との共同開催)

- ・AIと著作権に関する基礎知識セミナー 5/27
- ・映像翻訳とAIに関する基礎知識セミナー 5/27
- ・第37回東京国際映画祭/TIFFCOM2024 説明会 9/19
- ・国際共同制作の現状と課題 10/26
- ・コロナ禍後の映画館観客実態調査 9/18
- ・経済産業省エンタメクリエイティブ経済政策研究会 1/30 ほか

5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

1. 映画祭の後援・協力をし、各映画祭が成功裡に開催されるよう協力した。

2024年度 外配協後援各種映画祭・イベント

映 画 祭	会 期	会 場
午前十時の映画祭14	2024年4月5日 ～2025年3月27日	全国66映画劇場
第3回京都映画賞	2024年4月1日 ～2025年3月31日	2025年2月23日 表彰式 京都文化博物館
第16回沖縄国際映画祭	2024年4月20日 ～4月21日	那覇市文化芸術劇場なはと 琉球新報ホールほか
映画感想文コンクール 2024	2024年7月1日 ～9月15日(募集)	2025年2月受賞者発表
SKIPシティ国際Dシネマ 映画祭2024	2024年7月13日 ～7月24日	SKIPシティ彩の国ほか

あいち国際女性映画祭 2024	2024年9月5日 ～9月8日	ウィルあいち、 ミッドランドスクエアシネマ
第37回東京国際映画祭	2024年10月28日 ～11月6日	日比谷・銀座地区ほか
TIFFCOM 2024	2024年10月30日 ～11月1日	東京都産業貿易センター浜松 町館
MPTE AWARDS 2024	2024年11月1日	時事通信ホール
第20回山形国際ムービー フェスティバル2024	2024年11月8日 ～11月9日	MOVIE ONやまがた
第16回 京都ヒストリカ国際映画祭	2024年12月3日 ～12月8日	京都文化博物館ほか
第20回大阪アジア映画祭	2025年3月14日 ～3月23日	ABCホール、シネ・リーブ ル梅田ほか
第3回新潟国際アニメーション 映画祭	2025年3月15日 ～3月20日	新潟市民プラザほか

2. 各種映画賞運営に協力

第48回「日本アカデミー賞」（運営委員として）、第79回「毎日映画コンクール」の運営（諮問委員として）、「2024年度ブルーリボン賞」（懇親会）の運営に協力した。

6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

1. 映画館内における映画盗撮による著作権侵害に対し、平成19年施行された「映画館の盗撮の防止に関する法律」のもと当協会、一般社団法人日本映画産業団体連合会、一般社団法人日本映画製作者連盟、モーションピクチャー・アソシエーション（MPA）、全国興行生活衛生同業組合連合会は、一般社団法人映像ソフト協会、日本国際映画著作権協会とも緊密な連絡を取り、全国劇場における盗撮防止キャンペーンCMを継続している。

このほか、違法対策室を設け劇場からの盗撮情報を集約、連絡を徹底している。

2. 著作権問題

会員各社における著作権問題に関する諸問題について顧問弁護士を通じ対応にあたった。一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）と全国興行生活衛生同業組合連合会の間で協議を重ねている「JASRAC 協議」では、映画上映に関する利用許諾における改定契約書が、2023年5月31日締結された（自2023年4月1日至2028年3月31日）。引き続き映画業界全体として公平な相互負担を目指し各関連団体との協議を重ねていく。

7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

以上

2025 年 2 月 19 日

一般社団法人 映画産業団体連合会 御中

一般社団法人外国映画輸入配給協会
会長 山崎 敏

要望書

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は業界発展に格別のご理解とご尽力を賜り、心より敬意を表します。

エンタメ・クリエイティブ産業は、世界的にも中長期的な成長が見込まれる産業とされ、わが国においてもコンテンツを基幹産業として捉え、産業全体として生産性・収益性を高めることが求められています。こうした観点を踏まえ、コンテンツ産業全体が成長していくためには、成長によって得られた収益を適切に還元するという好循環の実現は不可欠です。

さて、近年の物価高騰や賃金引上げを求められるなか、企業各社の経営は大きな負担をしいられております。特に中小企業の取引の下流に位置する事業社においては、価格転嫁が行われないことで経営が圧迫され、持続可能性が危ぶまれる待ったなしの危機的状況です。

このような背景から、映画館入場料金や映像ソフト価格など、コンテンツにおけるサプライチェーン全体での価格転嫁実現に向けて要望を申し上げます。

コンテンツ業界におけるサプライチェーンの価格転嫁による好循環実現は、業界全体の健全な発展と企業の生産性・収益性を高める重要課題です。

何卒ご理解とご対応を賜りますようお願い申し上げます。

敬具